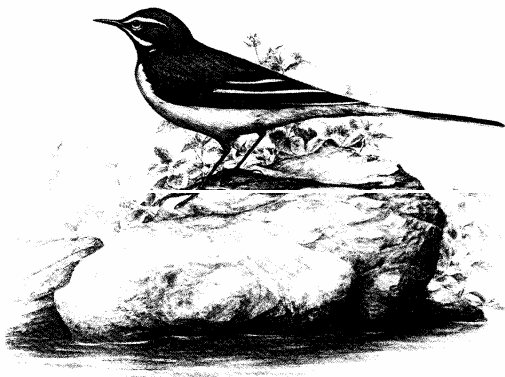


いしたたき

2004. 9 NO. 10



ーイシタタキー

この鳥は主に河川周辺に棲んでいて、いつも尻尾を上下に振るので「イシタタキ」と呼ばれるのです。正確には、セキレイ科の鳥です。日田では普通、ハクセキレイ・セグロセキレイ・キセキレイの3種類が見られます。それぞれ、体の色で区別しています。このうち市内で周年見られるのはセグロセキレイとキセキレイですので、「イシタタキ」とは、この2種類をさすことばです。

第9回リバーフェスタinみくま川 「川がゆうえんちになる日」

リバーフェスタinみくま川 実行委員長 小関 克也（日田市連合青年団）

第9回リバーフェスタを振り返って見ると今回は、本当に三隈川を見つめ直すいい機会になりました。正直に私は、今現在三隈川は汚れていると思います。実際にリバーフェスタの際に川の清掃をしたところ、明らかにポイ捨てをしたであろうと思われるジュースの缶等のゴミが出てきました。もちろん川の汚れる原因はそれだけではなく、生活排水等のさまざまな原因があると思います。それらの原因の一つ一つは、私達の心がけ一つで大きく変わります。今の三隈川は、まだ泳げる川であり、日田市の貴重な財産です。この財産をよりきれいにいつまでも泳げる川で残していく事が私達の役目ではないでしょうか。

今回、雨が降るといふハプニングがあ

りましたが、そんな中でも元気良く本当に楽しそうに泳いでいる子ども達を見て、10年先20年先も三隈川がリバーフェスタのできる川であってほしいと思いました。



いしたたきは、環境保護の為、再生紙を使用しています。





☆ 今年も大盛況でした！！ 各アトラクションの紹介 ☆



バナナボート 体験乗船



空飛ぶ ゴンドラ



ターザンロープ 体験



屋台村



丸太乗り ゲーム



交流ボート大会



ちびっ子広場



島内堰の滝すべり

そのほか、走るDeゴザール・

ストラックアウトもありました。

来年も、みくま川で待ってるよ！



☆ 交流ボート大会の結果 ☆



総合優勝（2連覇達成）：
中ノ島ライクサーモン・チーム
（優勝タイム：2分22秒）



女性の部の優勝：
夏のお嬢さんチーム（聖陵会）
（タイム：3分09秒）



準優勝：ジャンボ川原 チーム
（タイム：2分41秒）



ユーモア賞：
日田郵便局Aチーム



第3位：西部RC40・チーム
（タイム：2分58秒）



コスチューム賞：
ハワイヤン・かわいいヤンチーム
（聖陵会）

『台霧の瀬』 オープンと川の楽校

日田の川を考える会 会長 佐藤 忠蔵

8月1日(日)に予定していた台霧の瀬オープニング行事が、台風接近のため中止となり、8月8日(日)川の楽校と同時に行ないました。

川の楽校は、9時開校、会長挨拶、朝霧の館館長挨拶の後、参加児童19名を5班に分け、各班に会員の指導員が二人ずつついて魚釣りから行動開始、その後、刺し網・投網・釜(うけ)の見学をした。

11時に魚釣りから帰ってきた児童と指導員は、台霧の瀬オープン安全祈願祭に合流した。橋本宮司の司祭で、安全を祈願、代表者の玉串奉奠と挨拶、祝辞があり、鯉を放流して終了。地元自治会、筑後川河川事務所、市役所など多数の参加者があった。

祈願祭が終ると、瀬をせき止めて魚捕りにうつった。昔の川ほしの要領で瀬を上ってきていた魚を捕り始める。そこに日隈町の高瀬養魚さんの提供で鮎200匹を放流したので、魚があっちこっちで飛び跳ね大賑わいとなった。川の楽校の参加者だけでなく、近くの子どもたちが大勢参加、鮎を5~6匹も捕った子どももいた。

この後、日田漁協から頂いた鮎を串に刺して焼き、女性会員の作ってくれたソーメンを竹のコップで食べたり、竹の皿に魚やおにぎりを入れて野性味あふれる食事に子どもたちは大喜びだった。

午後は、水着に着替え、ライフジャケットをつけて水遊び、特に瀬を下る瀬流れが好評で、何回もやっていた。

その後、朝霧の館に帰って、班毎に反省会をし、感想などを広用紙に書き上げた。これは1階に展示しています。

行事が盛り沢山で大変でしたが、大好評の程に終了した。

これからは、台霧の瀬をうんと使っていただきたいと思います。そしてみんなの力で楽しく使える瀬を作っていきましょう。





「台霧の瀬」に大壁画完成

台霧の瀬づくりプロジェクト 諫山 司

みなさんもうごらんになったことがあると思いますが、お盆前に台霧の瀬に大壁画が完成しました。

台霧の瀬では、7 月終わり頃には飛び石や分水型落差工などの瀬づくりを終え、夏休みに入った子供達でニギあっていました。しかし、唯一の日陰であり、多くの人たちが車を止めてお昼の休憩をとる、台霧大橋下の広場を挟むようにしてたっている橋台と橋脚には、いつの頃からか手の届く範囲の壁面いっぱいにはスプレーで心ない落書きが描かれていました。

これでは、せっかくの憩いの場がないしなので、プロジェクトでは以前から落書き消しの協議をしていたのですが、「東京のほうでも、商店街のシャッターや高架下の壁面などでの落書きが多く、消しても消してもすぐに書かれるイタチゴッコだったようですが、逆に美大生などに綺麗な絵を描いてもらったら落書きがかなり減った」という話を聞き、私どもプロジェクトでもさっそくやってみることにになりました。

橋の管理者である大分県日田土木事務所の協力も得、日田高校美術部長野先生をはじめ、2 年生の高倉史子さん熊谷瞳さんら美術部有志の女子生徒 6 名、又、日田林工高美術部の顧問でプロジェクトのメンバーでもある桑野先生をはじめ 1 年生の堤恭平部長ら男子生徒 6 名にお願いし、「くつろげる、楽しめる、自然を体感できる

空間づくり」と言う瀬づくりプロジェクトの趣旨を説明して、原画からすべて生徒達考えてもらいました。

日田高校の生徒には橋脚の高さ 3.6m、幅 22m、南北両面の部分を担当してもらい、南側せせらぎに近い壁面には、川のイメージで躍動的に泳ぐ魚の絵、北側の広場に面した壁面には、空をイメージしたファンタジックな絵を描いてもらいました。

一方、日田林工高の生徒には中ノ島側の橋台部分高さ 2m、幅 25m を担当してもらい、「時をゆっくり・・・美しいひたの自然をいつまでも」の標語を中心に少しずつ数が戻りつつあるメダカ、蛍、ギンヤンマ、そして日田市の花、アヤメを、技術高校らしいきっちりとした型どりで描いてもらいました。

両校とも、夏休みを利用してではありませんが、県のスケッチ大会があったり、文化祭の個人作品づくりの忙しい合間に短期間で描いてもらいました。これで落書きも無くなることと思います。後は、橋脚北側の空をイメージした壁画の空いた部分に台霧の瀬で遊ぶルールなどを書いた看板を設置するようにしています。まだ見ていない方は、ぜひ台霧の瀬に遊びに来て下さい。

(次ページに写真を掲載しています。)



日田高校・美術部の女子生徒のみなさんと、橋脚の絵画



日田林工高校・美術部の男子生徒のみなさんと、橋の台部分の絵画



(写真提供 : 西日本新聞社)



これまでの歩みとこれから



郷土日田の自然調査会 会長 佐藤仁蔵

郷土日田の自然調査会は、これまでに次のような地域の自然を、1地域2年乃至5年の歳月をかけて調査し、調査報告書を7冊発行しました。

大川内山の自然調査報告書(1982)、
日田市・三隈川の自然調査報告書(1985)、
日田三丘(日隈、月隈、星隈)の自然(1987)、
日田市・花月川上流地域の自然(1990)、
前津江村・御前・釈迦岳の自然(1994)、
日田市・南部地域の自然(1998)、
日田市・東部地域の自然(2003)。

既に亡くなられた方が数名、勤務の都合で転勤された方が数名、調査委員ではないが調査に協力頂いた方が数十名と、数多くの方々のご支援とご協力によって調査・研究を遂行することが出来ました。特に「釈迦・御前岳」の調査並びに報告書の発行には「富士フィルム・グリーンファンド」、「東部地域」の調査並びに報告書の発行には「イオン環境財団」からそれぞれ研究助成を戴き、大変助かりました。

調査内容はその時の構成メンバーによって違いますが、すべての地域で調査された分野は、地質・岩石、植生、フロラ、陸生昆虫、底生動物、鳥類の6分野・領域です。

東部地域で見つかった動植物の数は次の通りです。

維管束植物(シダ類以上の高等植物) 141科1002種(但し、栽培種がかなり含まれていますので、実質970種程)、陸生昆虫150科803種(但し、調査対象

種で)、陸産貝類9科20種、底生動物105種(水生昆虫を含む)、魚類7科16種、鳥類44科121種、哺乳類10科14種(但し、調査した範囲内で確認できた種)

現在体調不良や勤務の都合で、調査活動に参加出来ない会員もいて、実質18名の会員と県内有志の協力によって、大鶴・夜明地域の調査を開始しています。西は福岡県との県境、南は夜明ダム、東は一応の目安として、岳滅鬼山・高塚山・上宮山・田代山・北方山を見通した線。大字は鶴河内・大肥・夜明の3地域です。

調査途中ではありますが、既に他地域では見られなかったものが見つかっています。どんな調査結果が出るか私どもも予測できません。調査範囲が狭いので種数は少ないことは想像できますが、質の面では……?

大鶴・夜明地域が終了したら、三隈川から再度やり直すか、市町村合併とからんで、現在の日田郡の各町村別の調査になるかは全く不明です。現日田市内でも、中心部や山田原・朝日・萩尾方面の調査はまだされていないのですから。



「バン」という鳥を知っていますか？

NPOひた水環境ネットワークセンター

藤田 公 昭

筑後川流域について書かれている冊子に、中流域に生息すると紹介されている「バン」という鳥が載っています。体長は鶏よりやや小ぶりでは黒く、葦（よし）などが生えている周辺に棲息し、水面を泳ぎながら人気を感じると葦の中に身を隠す大変臆病に見える鳥です。一番の特徴は、真っ黒な体の色に対してくちばしから前頭部にかけて赤い部分があるところで、分類としてはクイナ（ヤンバルクイナで有名な）の仲間のようなです。筑後川では、夜明ダムより下流の筑後地域でたくさん見かけることが出来ます。

私の住む大肥川の周辺で、私が初めてバンを確認したのはおよそ7年前です。そのころは夕暮れ時しか姿を見せず、見かけない鳥がいたと思っていましたが、次の年の夏には、親子連れが、5～6羽で餌をとりながら泳ぎまわる姿をビデオに収録しています。

ところが、河川工事が始まったとたんに、次第に見かける機会も少なくなり、3年ほど前に雪の中で（越冬する？）バンを見かけてから1年余りは、下流のほうにわずか1羽の確認しか出来ませんでした。このまま姿を消すかと思っていた矢先、今年に入って2羽のバンが確認でき、ほっとしています。また、去年は、大肥川上流域の鶴河内川のほか、二串川、三隈川、玖珠川でも見かけることが出来ました。花月川や有田川にも棲息してい

るのではないかと思います。（詳しくは、野鳥の会の方に尋ねてみます。）

河川も治水や利水に関連し、少なからず公共工事が行われ、次第に姿を変えています。大肥川の河川の護岸工事は、20年ほど前の工事区間から比べると上流に行くにつれて次第に環境に配慮した工事に変わっていく様子が見えます。また、最近は濁った水を沈殿させて汚れを抑えて下流に流している工事も見かけます。しかし、本当に生物にとって棲みやすい環境かどうかは疑問に思います。以前のような護岸の樹木がほとんど見ることが出来なくなったのは、寂しい限りです。

今後は、この自然環境を次世代の子どもたちに残し、生物の棲みやすい環境も変えずに残していきたいものです。

バンやカワセミやセキレイを朝夕眺めながら感じる今日この頃です・・・。



夢紀行筑後川エコロジーマップより
(国土交通省筑後川河川事務所発行)



賛 助 会 員 一 覧

広報誌「いしたたき」の発行は、主に賛助会員の皆様のご支援により行われています。

- | | |
|---------------------|-------------------|
| 青柳インテリア(株) | 田中建設(株) |
| 広告制作プロダクション(有)アドゲイツ | (株)谷組 |
| (有)イサモト土地企画設計 | (株)トライ・ウッド |
| (株)諫山工務所 | 社会福祉法人地の塩会 ひかり保育園 |
| 石井保険事務所 | 社会福祉法人地の塩会 日の隈保育所 |
| (有)石田工作室 | (株)千原工務店 |
| 井上社会保険労務士事務所 | (資)千原電気事業所 |
| (株)インテリア春 | (有)中央印刷 |
| (有)M&T山本 | 中央ビル管理(株) |
| 老松酒造(株) | (有)光岡興業 |
| (有)オガウチ経営サポート | (株)トーケイ |
| (有)小笠原組 | (株)中野組 |
| (有)小関麻袋商店 | 五 中野製材所 |
| (有)カードクター・フカミ | (株)ナンプ木材流通 |
| 角の井 (株)井上酒造 | (有)羽衣 |
| (有)梶原鉄筋 | (有)原田保険事務所 |
| カネサダ横尾木工所(有) | (株)光会館 |
| 日田ビジネスホテル カネセン | 特別養護老人ホーム 日田園 |
| 河津建設(株) | 日田漁業協同組合 |
| 川原興業(株) | 日田郡森林組合 |
| やすらぎと味の宿 亀山亭ホテル | 日田市管工事協同組合 |
| (株)九州木材市場 | 日田市森林組合 |
| 九物食品工業(株) | 日田自動車工業(株) |
| グリーンコープ生協おいた日田センター | (株)日田スレート建材 |
| クンチョウ酒造(株) | (株)日田中央木材市場 |
| COOPひた | (株)日田ビル管理センター |
| (有)コウエイ | 日田部品 |
| (有)五島工芸 | 日田木材市場(株) |
| 旅館 小松軒 | 日田木材協同組合 |
| 医療法人藤和会 近藤歯科 | 不二水道(株) |
| 坂本機械 | 弥 (有)藤田製材所 |
| ㊦ 佐藤製材所(株) | ホテル ソシア |
| 湯遊びと舟遊びの宿 山陽館 | (有)丸記屋 |
| JA大分ひた農業協同組合 | 三隈川観光開発(株) |
| (有)下徳産業 | 小京都の湯 みくまホテル |
| 医療法人聖陵会 聖陵岩里病院 | みどりパン |
| 瀬戸製材(株) | (株)ユウキ木産 |
| (株)大日 | 日田の宿 よろづや |
| (有)高倉スレート工業 | リバーサイドホテル 山水館 |
| (有)高橋三男商店 | 若美家 |
| (有)寶屋 | |
| 武内歯科医院 | |

(50音順)



〇〇。「洗濯キャラバン」10周年記念シンポジウム無事終了

去る、平成16年6月26日（土）、10周年シンポジウム『せっけんとくらし』（環境にやさしい生活と、せっけんの推進）は、皆様のご支援ご協力により無事終了することができました。

基調講演では、講師に、森田光徳氏（シャボン玉石けん(株)代表取締役社長）をお迎えし、「生活の中の危険」と題して行なわれました。また、会場討論会では、みんなで話そう！「せっけんとくらし」をテーマに、大変充実した活発な意見が

交わされた討論会となりました。さらに、洗たくキャラバンの短縮バージョンも披露させて頂きました。

大雨の天候の中、出足が鈍かったものの、たくさんの方々に足を運んで頂きました。参加者からは、「今回シンポジウムに参加していない、もっと多くの方にお伝えしたい内容でした！」という意見もよせられていますので、『いしたたき』において、講演録としてお伝えしたいと思っています。

◇ 御後援を頂き、誠に有難う御座いました。厚く御礼申し上げます。

日田市・日田市自治会連合会・JA大分ひた・日田市私立幼稚園連合会・

日田市民間保育園連盟・NPO 筑後川流域連携倶楽部 ・ 協力：ストリームひた

〇〇.. 洗たくキャラバンの開催報告 ..〇〇

9月11日 八女水の会・定例講習会（八女市東公民館）
10月9日 エナコロジーマンズinなかつ（中津市豊中小学校）

事務局よりお知らせ

会 員 ・ 賛 助 会 員 ・ 大 募 集

当センターは、「子どもたちに泳げる川を！」をスローガンに、水環境に関心のある個人や団体で構成され、ネットワークを通して、会員それぞれの考えや活動を広く市民や行政などに伝えながらより良い日田の水環境をつくれるよう活動しています。

環境問題は、1人や2人の努力では決して解決できません。是非、私たちの活動や思いを理解し、「NPO ひた水環境ネットワークセンター」へのご入会をお願い致します。

（個人・団体にかかわらず、入会できます。）



発 行： NPO ひた水環境ネットワークセンター

事務局：大分県日田市三本松2-2-16 日田商工会館3F（社）日田青年会議所内
TEL：0973-24-7150 FAX：0973-22-8265
Email： hita-jc@blue.oit-net.jp



いしたたきは、環境保護の為、再生紙を使用しています。

